

e スポーツ選手の職業としての展望

1240464 谷口 恒太

指導教員 金 東勲

研究背景

コロナ禍の影響もあり、近年の e スポーツの発展に興味をもった。YouTube や Twitch などのメディアを通じてゲームの魅力を改めて感じることができた。しかし、ゲームを職業とする e スポーツ選手の印象は良いものではない。そこで、未だデータの少ない e スポーツ選手の現状を調査して、職業としての展望を示していきたいと考えた。

研究目的

本研究は、e スポーツ選手をあらゆる視点から他の職業と見比べることで、職業としての価値を見いだす研究になることを目的とする。

研究方法

104 名の e スポーツ選手のデータをもとに、調査した e スポーツ選手の平均収入と e スポーツの歴史を、民間企業で働く男性の平均収入や将棋の歴史と比較して、図と表を作成し、調査結果から考察する。

分析結果

e スポーツ選手の年収は約 465 万円 + 広告費であることが、調査から分かった。これは、民間企業で働く男性の平均年収の 563 万円と比べて大きな差はない。また、歴史の面では、将棋が文化としての発展にかかった年月から、2018 年にスタートした日本の e スポーツも職業として認められるには年月が掛かることが示された。

考察・結論

e スポーツ選手の収入面と歴史を、他の職業との比較した結果、収入面では職業としての価値を見いだすことができていると考えられる。しかし、安定した収入を確保することが困難なことが職業としての課題である。また、歴史の面からでは、100 年の歴史がある将棋界から、近年「文化功労者」の称号やや「国民栄誉賞」の受賞したことから、e スポーツも数十年の時を経て職業として評価される時代がくることが期待できる。